

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

師友塾高校・通 対 飛鳥未来高校・札幌・通

■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 1回戦

■試合時間 3時間00分 ■備考

■審判 球審:植木 塁審:宇田川 田中 小松

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
師友塾・通	西中国・広島	2	0	1	0	0	0	5	2	2	12	15	4
飛鳥未来札幌・通	北海道	0	3	0	0	0	1	0	1	0	5	6	5

師友塾・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	7	8	9						
1	捕		力武 充	5	4	3	1	四球		投ゴ		捕飛		投安		一安	中安						
2	一	投	山中 偉央	5	3	4	4	四球		中安		三飛		遊安		三安	左2						
3	中		上島 巧也	4	1	2	1	三ゴ		投犠			三失	左安		中安	死球						
4	投	一	弦巻 陽平	5	1	2	1	中3		右安				三ゴ		四球	三振						
5	三	投	白川 溪太	4	1	2	1	左安		三振			左安	一失		四球							
6	二		鈴木 和寿	2	0	1	0	二安			二ゴ		投犠	四球									
6	打	二	高橋 健太	1	0	0	0									三振							
7	右		吉田 嗣実	4	0	0	0		捕ゴ		右飛		一ゴ	四球			三振						
8	左		琴谷 惣一	2	0	0	0		投ゴ		捕飛												
8	打	右	高橋 拓実	3	1	0	0							左失	三振		一ゴ						
9	遊		檜崎 敏秀	3	1	1	0		投ゴ			三安		投犠		投ゴ	四球						
合計				38	12	15	8	残塁:10		併殺:0													
備考																							

■バッテリー

投手
弦巻 陽平
山中 偉央
弦巻 陽平
白川 溪太
山中 偉央

捕手
力武 充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
弦巻 陽平	1 2/3	6	1	1	1	0
山中 偉央	1	6	1	0	1	0
弦巻 陽平	3 2/3	14	1	3	1	0
白川 溪太	2 1/3	10	2	0	1	1
山中 偉央	1	4	1	1	0	0

飛鳥未来札幌・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
1	三	投	小林 慶毅	5	0	0	0	三振	二飛			二飛	三邪			二ゴ							
2	左		徳田 裕佑	5	0	2	1	投ゴ	中安			捕飛		三ゴ		中安							
3	投	捕	小林 和生	5	0	0	0	捕飛	一ゴ			左飛		三邪		一邪							
4	一		石山 航也	5	2	2	0		捕安	捕飛			左3	遊飛		三振							
5	捕	投	村形 昌彦	4	1	0	0		二失	遊飛			遊飛		一ゴ								
6	中		吉田 龍樹	3	2	1	0		四球	投ゴ				三振		左安							
7	二		棟方 翔	4	0	0	0		三ゴ		投ゴ			投失		三ゴ							
8	右		大川原 諒	2	0	1	1		四球		三振			四球		右安							
9	遊		長谷川 佑太	3	0	0	0		一失		三振			死球		一邪							
合計				36	5	6	2	残塁:8		併殺:0													
備考																							

■バッテリー

投手
小林 和生
村形 昌彦
小林 慶毅

捕手
村形 昌彦
小林 和生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
小林 和生	6 1/3	29	9	1	2	4
村形 昌彦	2 1/3	16	4	3	5	3
小林 慶毅	1/3	4	2	1	1	1

■戦評

1回戦、駒沢球場の第3試合は3年連続3回目出場の西中国地区代表・広島県師友塾高校通信制と初出場の北海道代表・飛鳥未来高校札幌通信制の対戦となった。試合は序盤、点の取り合いとなった。1回表、師友塾は相手先発小林和の立ち上がりを攻め適時三塁打などで2点を先制する。対する飛鳥未来は2回裏、安打などで無死満塁の好機を作ると相手の暴投によりまず1点を返す。さらに救援した師友塾2番山中から2番徳田が適時打を放つなどこの回3点を奪い試合をひっくり返す。しかし師友塾も3回表、4番弦巻の適時打により試合を振り出しに戻す。再び試合が動いたのは6回表、飛鳥未来は4番石山が長打を放つと中継が乱れる間に一気に生還し1点を勝ち越す。粘る師友塾は7回表、1番力武、2番山中の連続適時打で逆転すると相手のミスにもつけ込みこの一回一挙5点を奪い試合を決めた。8回、9回にも2点ずつを加えた師友塾が相手の反撃を1点に抑え12-5で勝利した。一方の飛鳥未来は6回裏に1点を勝ち越した後、なおも好機で追加点を奪えなかったのが痛かった。